

『バラ色の未来』 真山 仁 著

(分類:Fマ)

首相官邸にプラスチックのコインを投げつけていたホームレスは、総理のIR 指南役と呼ばれた元名物町長だった。誘致失敗の裏に何があったのか、新聞社の結城洋子は徹底的に追及しようとするが...



『なかなか暮れない夏の夕暮れ』 江國 香織 著

(分類:Fエ)

本ばかり読んでいる稔、姉の雀、元恋人の渚、娘の波十、友だちの大竹と淳子...。切実で愛しい小さな冒険の日々と、頁をめくる官能を描く長篇小説。



『合理的にあり得ない 上水流涼子の解明』 柚月 裕子 著

(分類:Fユ)

不祥事で弁護士資格を剥奪された上水流涼子は、探偵エージェンシーを運営。明晰な頭脳と美貌を武器に、怪人物がらみの「あり得ない」依頼を解決に導くのだが...



『SCS ストーカー犯罪対策室』 五十嵐 貴久 著

(分類:Fイ)

有梨が所属するストーカー犯罪対策室に 35 歳の主婦から相談が寄せられた。2 カ月もストーカー被害が続いているという。一方、有梨も「S」と名乗る人物から無数のメールを送られていて...



『密室 本能寺の変』 風野 真知雄 著

(分類:Fカ)

誰かに殺されるのをみすみす許すくらいならわが手で-。本能寺を取り囲んだ光秀は信長がすでに殺されたことを知る。いったい誰が? どうやって? 恋敵ではあるが、切れ者の蘭丸は何をしていた? 光秀の犯人捜しが始まった。



新着図書案内(3/5)

『それでもこの世は悪くなかった』 佐藤 愛子 著 (分類：914サ)

人から見れば悲劇かもしれない人生。しかし、正々堂々、力いっぱい生きた私はいま、満足だ-こんな佐藤愛子は、どうしてできた? 93歳、初の語り下ろし人生論。



『毎日っていいな』 吉本 ばなな 著 (分類：914ヨ)

この歳になって、新しくなにかを取得できるなんて、なんてすばらしいことだろう。それがたとえめだかの卵を素手で採取することであっても...。読むほどに日々が愛おしくなる50のエッセーを収録。



『幸田家のことば』 青木 奈緒 著 (分類：914ア)

「かけかまい」「小どりまわし」「ぞんざい丁寧」「心ゆかせ」...。曾祖父・幸田露伴、祖母・幸田文、母・青木玉、そして著者へと連なる40のことばについて綴るエッセイ集。



『四季を愉しむ手しごと』 小島 嘉和 著 (分類：596コ)

とっておきのレシピやアイデアで、季節に寄り添う暮らしを-。季節のめぐりに合わせて毎年行ってきた果物仕事と、それらを使ったお菓子作り、草花を育て、愛でる楽しさを紹介します。

